

令和7年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 第2回学校運営協議会議事録

場 所	針ヶ谷小学校 会議室
日 時	令和7年10月17日（金）午前10時00分～11時30分
出席者	学校運営協議会委員 12名 ひかり認定こども園長、青少年育成針ヶ谷地区会長、育成会副会長、領家7丁目自治会長、主任児童委員、大原中学校長、針ヶ谷保育園長 針ヶ谷小学校5名（校長、教頭、教務主任、学校地域連携コーディネーター、事務職員） 針ヶ谷小学校児童7名（6年生4名、5年生3名） 合計19名出席
議 事 錄	
1 開会の言葉	
2 会長あいさつ	地域の声をいただきながら学校運営を行っていくことが重要。 超少子化社会に突入し社会的にも子どもに予算をかけていく風潮が出てきた 子どもの成長のためにやれることをやっていきたいと思っている。 子どもたちのため、活発な協議をお願いしたい。
3 校長あいさつ	地域の財産として、子供たちが地域から世界へ飛び立っていくようにどんな人材を育てていくべきかお話していきたい。またこのあと代表児童との協議もあるのでお声がけいただけるとありがたい。
4 令和7年度の進捗状況・校長	学校自己評価システムシートを基に説明を行っていく これは市立全校で作成しているもので評価をしてもらっているものである。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 主体的対話的深い学び <p>個別最適な学びとして勉強が苦手な子への指導と勉強が得意な子への理解興味に合わせた学びの実施をできるように今年度は教職員研修もテーマを決めて対話をしながら実施している。</p> <p>学力ポートフォリオより、基礎はできている。課題は組み合わせ問題や長文読解である。カリマネを意識付けさせる取り組みの紹介。</p> 2) 心のサポート <p>理由が明確でない登校渋りなど不登校の低年齢化が進んでいる。</p> <p>教室にいづらい子もあり、solaルームの活用が課題。</p> 3) 地域とともに <p>引渡し訓練の共同実施や保育園・こども園の年長との交流の実施。</p> <p>わすれな草PJも今後大原中・上木崎小とともに取り組む。</p> <p>昔遊びや放課後チャレンジスクールが実施団体の高齢化により中止・休止となっているのが残念。</p> 4) 教育環境整備 <p>PTAを窓口に地域の方々の手も借りながら、菌ちゃん農法でファームを復活できたのが大きな成果。今後は学校として継続していく。</p> 5) 教職員キャリア形成 <p>教職員の研修や活動が活発である一方で長時間労働が課題となっている。</p>

5 代表児童との協議「本校児童会が頑張っていること」	<p>児童会児童より自己紹介。(6年生4名、5年生3名)</p> <p>児童会スローガン「みんなポジティブ針小っこ」を基にした活動紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつボランティア・あいさつ免許証の発行。 →あいさつは増えてきてよかったが地域でのあいさつが課題。 ・ハーリーをさがせ →他学年との交流が図れ、またみんなで協力している姿が見られたのがよかったです。 <p>大原中校長より</p> <p>小学校から地域に向けた取り組みをしていることがわかりとても良いと思った。わすれな草PJについての説明、「震災をわすれない・人とのつながりをわすれない」というPJ理念を基に①福島の高校生が育てたわすれな草を育てる②復興支援の募金活動をみなさんにお願いしたい。</p>
6 あなたは、どんな針ヶ谷小にしたいですか。【熟議】	<p>3班に分かれて左記テーマの熟議の実施。</p> <p>A班:安心して通えるような学校。</p> <p>→AIの進歩を発端に社会的に重要なことが変わってきている。コミュニケーションをとることの重要性、身体を使うこと、様々な体験を基にした知識を身に付けていける学校にしていきたい。</p> <p>B班:体験活動を通した感動実感できるような学校。</p> <p>→友人や地域との交流を通して学校内で感動を実感できるような活動ができるようにしていきたい。</p> <p>C班:人と環境・時間とお金。</p> <p>→お互いも自分も認めあえる環境づくり、困っていたら助けてと言えるような環境づくり、学びと遊びに集中できるような環境づくりのために重要なのが上のテーマではないか。</p>
7 閉会の言葉 ・会長	<p>発表を踏まえて感想の共有・本校のテーマ</p> <p>A 「安心・つながり・体験・身体」</p> <p>B 「安心安全な学校、心と体の動く感動を」</p> <p>C 「共に伸びよう～生きる力を～」</p> <p>語り合うのは面倒だがコミュニケーションにつながる。今回も熟議を通して同じ方向をみんなが向いていることが分かった。労を惜しまずコミュニケーションをとり、子どもの健やかな成長に向けて頑張りましょう。</p>